

問 原子力災害の避難で 渋滞する所は

答 高速道路出入口や避難経路所付近

問 原子力災害の避難計画は未解決の課題が山ほどある。避難する時、渋滞する地点は。在宅の避難行動要支援者で、支援してくれる人が決まっている人の数は。福祉車両などの移動手段が確保できている人の数は。

答 主要交差点、高速道路の出入口、避難経路所付近の渋滞が想定される。要支援者の登録は2月1日で97名。支援するのは住民福祉班180人超だが、応援が必要なら国や県と連携する。福祉車両が必要な方は13名。村内の車両を優先的に使用するが初動で応援が必要なため県に手配し順次避難先へ搬送する。



あべ こうし 議員
阿部 功志



避難時に大渋滞が予測される
東海スマートインター入口

問 自力避難が難しい村民は1500人以上はいる。それを100人程度で収めようとする消極的な村の姿勢を批判する。原発問題は原発を動かさないと生じる問題と動かした時に生じる問題とを並立比較して村民に示す義務が村にはある。歩行困難な人が一時集合場所まで移動する手段は。

答 住民福祉班が村内にある車両を優先的に使って搬送予定。

問 ほしいものの^{ざんさ}残渣活用と支援は

答 生産者の実情に応じた助言や指導

問 今後のほしいものの残渣活用は。

答 関係法令等に基づき適正な処分または有効的な活用を行ってもらうよう、先進的または優良的事例紹介などの情報提供をはじめ、学習会の実施および生産者の実情に応じた助言や指導等を行う。令和7年度新規事業として「ほしいもの残渣活用定着化推進事業」を予定しており、ほしいもの加工で発生する残渣の飼料化や堆肥化等について、農業分



食品ロス 地域課題解決学習
ハンドブック(茨城大学H2P出版)



新政とうかい
かわさき ゆうや 議員
川崎 裕弥

野における有効活用や再資源化の取り組みを支援していく。

問 東海村長のほしいも産業に関わる事業者に対する考えや展望は。

答 ほしいも日本一の産地として、これまで恵まれた気候風土と先人たちの努力と知恵が今日の東海村の「ほしいも」を作り出したことは確かであり、今後も継承していきたい。残渣の問題等を含め、生産者が抱える課題等に向き合い、課題解決に向け、国や県などが行っている支援策なども踏まえ生産者に寄り添った取り組みを考えていきたい。